

フラッシュ放流で河床をリフレッシュ ～名張川3ダム～

名張川3ダム（比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダム）では、梅雨や台風に備えて水位を下げており、この水位低下の操作を利用して、次のとおりダム下流の河川環境に配慮した放流（フラッシュ放流）を実施します。

- 1回目 日 時：平成24年5月9日（水） 午前9:30～午後3:00
実施ダム：比奈知ダム
- 2回目 日 時：平成24年5月16日（水） 午前8:30～午後3:00
実施ダム：比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダム

今回の放流は、ダムからの放流による流水の増加によって攪乱を起こし、石などに付着した泥や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざす取り組みです。

当日、ダム下流の河川では、ダムの放流により徐々に水位が上昇しますので、十分注意してください。また、当日は放流量の増加に合わせて警報（放送及びサイレン疑似音）を鳴らします。

取材にお越しの場合は事前に問い合わせ先へご連絡ください。



平成24年4月27日

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ
名張市政記者クラブ
桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 みずしげんきこう 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 ささきまさお 佐々木正夫
住 所：三重県名張市下比奈知2811-2
電 話：0595（64）8961（代）

比奈知ダム、青蓮寺ダム及び室生ダムにおける ダム下流河川環境に配慮した放流について

1. 目的

ダムからの放流による流水の増加によって攪乱を起こすことにより、石などに付着した泥や藻類等を剥離させ、河床をリフレッシュすることで、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境への改善をめざす目的で、フラッシュ放流という取り組みを行っています。

フラッシュ放流と同時に、ダム上流に堆積した土砂の一部をダム下流に置き、藻類の剥離効果を向上させる取り組みもあわせて行います。

比奈知ダムでは平成 16 年度より、洪水貯留準備水位に向けてダムの貯水位を低下させる時期を利用して、ダム下流の河川環境に配慮したフラッシュ放流を実施しています。また、室生ダムでは平成 19 年度から、青蓮寺ダムでは平成 20 年度からフラッシュ放流を実施しています。

また、フラッシュ放流に合わせて、下流河川の流れや川の中の藻類等について調査し、今後のダム下流河川環境に配慮したダム管理を行うための基礎資料を収集します。

2. フラッシュ放流の概要

①現況

比奈知ダム・青蓮寺ダム・室生ダムでは、洪水期が始まる6月16日に向けて梅雨や台風に向けて洪水調節の容量を確保するため、洪水貯留準備水位まで、水位を低下させる予定となっております。

今回のフラッシュ放流は、この水位低下操作の一環として行います。

比奈知ダムの貯水位：4月27日現在で標高 298.81m
(洪水貯留準備水位 標高 292.00m)

青蓮寺ダムの貯水位：4月27日現在で標高 275.83m
(洪水貯留準備水位 標高 273.00m)

室 生ダムの貯水位：4月27日現在で標高 294.91m
(洪水貯留準備水位 標高 289.60m)

②実施日

【1回目】

日時：平成 24 年 5 月 9 日（水）9 時 30 分～15 時 00 分（最大放流量は 2 時間継続）
実施ダム：比奈知ダム（放流量：最大毎秒約 30 立方メートル）

【2回目】

日時：平成 24 年 5 月 16 日（水）9 時 30 分～15 時 00 分（最大放流量は 2 時間継続）
実施ダム：比奈知ダム（放流量：最大毎秒約 30 立方メートル）
青蓮寺ダム（放流量：最大毎秒約 30 立方メートル）
室生ダム（放流量：最大毎秒約 13 立方メートル）

※フラッシュ放流予定日前後の気象条件等によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

③調査項目

④に示す調査地点において、以下の項目を調査します。

(1)付着藻類調査 (2)河川流況調査（水位上昇量、流況撮影） (3)水質調査

④調査地点（下表・図参照）

地点別調査一覧表

	平成24年5月9日（水）			平成24年5月16日（水）		
	付着藻類	水質調査	河川流況	付着藻類	水質調査	河川流況
ひなち 比奈知ダム放流口	-	○	-	-	-	-
ひなち 比奈知ダム放流口下流	○	-	-	○	-	-
しけんばし 四間橋	○	○	-	-	○	-
しょうれんじ 青蓮寺ダム放流口	-	-	-	-	○	-
しょうれんじ 青蓮寺ダム放流口下流	-	-	-	○	-	-
しょうれんじ 青蓮寺	-	-	-	-	○	-
かみなばり 上名張	-	○	○	-	○	○
おおやど 大屋戸	○	-	○	○	○	○
むろう 室生ダム放流口	-	-	-	-	○	-
むろう 室生ダム放流口下流	-	-	-	○	-	-
むろうじ 室生路	-	-	-	-	○	-
かんいすいどう 簡易水道取水口	-	-	-	-	○	-

凡例：○ 調査を実施 - 調査を実施しない



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの（平18総復、第58号）を転載したものである。」



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの（平18総複、第58号）を転載したものである。」

3. ダム下流河川の水位の上昇予測について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の名張川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので、注意してください。なお、フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【1回目：5月9日（水）の午後1時～3時頃】

- ・青蓮寺川合流後の鍛冶町橋付近（上名張地点）：最大で約60cm上昇
- ・青蓮寺川、宇陀川合流後の名張大橋付近（名張地点）：最大で約60cm上昇

【2回目：5月16日（水）の午後1時～3時頃】

- ・青蓮寺川合流後の鍛冶町橋付近（上名張地点）：最大で約1m上昇
- ・青蓮寺川、宇陀川合流後の名張大橋付近（名張地点）：最大で約1m上昇

4. 警報等の実施について

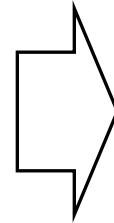
フラッシュ放流当日は、ダムからの放流量を徐々に増加させるため、安全面に配慮し放流警報（放送及びサイレン疑似音を鳴らします。）を行います。



● 過去の放流前後の河床状況（大屋戸地点） ●



石の表面は茶褐色で、細粒な物質（シルト・粘土や付着藻類）に覆われていました。



石の表面や河床の礫が明瞭に見られるようになりました。

● 過去の放流実施状況 ●



比奈知ダム 約30m³/s放流状況

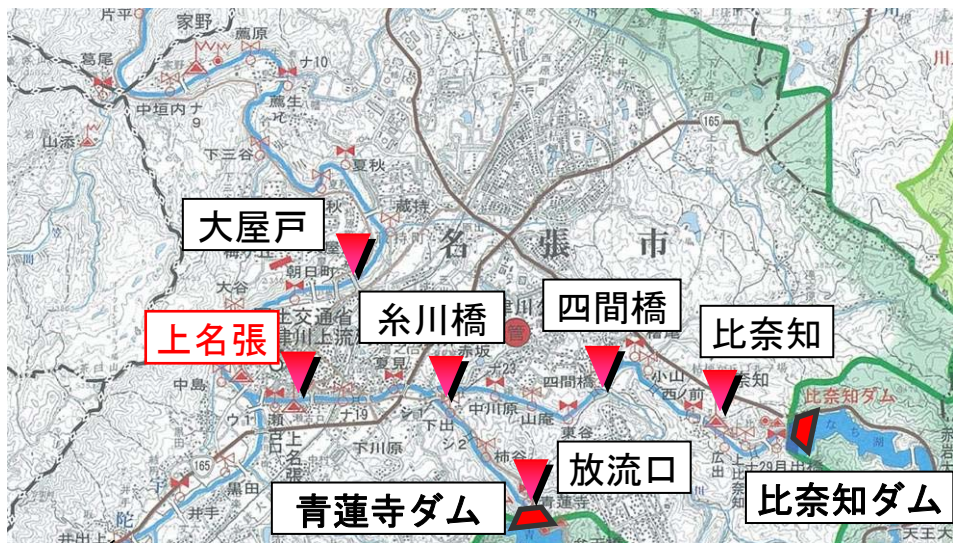


青蓮寺ダム 約30m³/s放流状況



室生ダム 約13m³/s放流状況

● 過去の放流実施状況（鍛冶町橋付近；上名張地点）●



位置図

室生ダム



放流前

H23.5.17

【水位上昇】
最大約 1 m



放流中（河川水位上昇中）



放流中（河川水位低下中）